みずほマーケット・トピック(2014年12月24日)

2015年、最初のテーマはギリシャになるか?

第2回ギリシャ大統領選挙は連立与党が擁立するディマス元欧州委員の得票数が決定に必要な200議席に及ばず、12月29日の第3回投票へと持ち越し。ここで未決の場合、議会解散の後、1月25日もしくは2月1日に総選挙となる。世論調査を踏まえれば、与党第一党が急進左派連合(SYRIZA)となる公算が大きく、その他野党との連立が進めば、議席の過半数を押さえる展開も有り得る。新政権は当然にしてトロイカが求める再建プログラムの履行拒否を主張すると思われる。この際、市場が警戒すべきは「トロイカとの交渉拒否→融資振り込まれず→ECBの適格担保から除外」とのプロセスを経て、ギリシャが ECBによる緊急流動性支援(ELA)の利用を余儀なくされる事態。過去の経験を参考にすれば、資金調達が ELA 依存となると、自然な結末としてのユーロ脱退が想起されやすい。国際金融市場安定のためにも、まずは29日の第3回投票で新大統領が選出されることを期待するしかない。さもなければ2015年最初のテーマはギリシャになるだろう。

~12月29日まで予断許さず~

昨日行われた第2回ギリシャ大統領選挙は連立与党の擁立するディマス元欧州委員の得票数が168票に止まり、決定に必要な200票が集められなかった。これにより新大統領の決定は12月29日の第3回投票へと持ち越されている。ギリシャ大統領選挙は第1回目及び第2回目に関しては定数300票のうち200票の賛成で可決されるが、第3回目では180票で可決されるため、あと12票の取り込みが必要となる。右表はギリシャ議会が公表する政党別議席数だが、新民主主義党(ND)と全ギリシャ社会主義運動(PASOK)の連立与党で155議席にしか及ばず、左派系野党5党で121議席、中立政党で24議席というのが現状である。要する

ギリシャ議会、政党別議席数

ナリ	ンヤ議会、以	.兄孙禨吊釵	
		新民主主義党(ND)	127
1	連立与党	全ギリシャ社会主義運動	20
		(PASOK)	28
2	野党(左派)	急進左派連合(SYRIZA)	71
		黄金の夜明け	16
		ギリシャ共産党(KKE)	12
		独立ギリシャ人(ANEL)	12
		民主左派(DIMR)	10
3	野党	独立民主国会議員	17
(S)	(浮動票?)	無所属(independent)	7
		155	
	2	121	
		24	
	※大統領	000	
	(1回目、2回目)		200
	※大統領選出に必要な議席数 (3回目)		180

(資料)ギリシャ議会「Per Parliamentary Group」を参照に筆者作成

に、元より第1回、第2回の投票は注目されておらず、恐らくは第3回目も厳しいのではないか、というのが従前の見立てとなっていた。

上述した通り、第3回投票では180票が要求されるため、連立与党全員の賛成に加え、中立政党24票も全て取り込んだ上で、左派系野党5党から1議席以上の造反をさせなければならない

2014年12月24日 1

17日の第1回投票では160票、昨日の第2回投票が168票と微増となっている現状を踏まえる限り、第3回も予断を許さないだろう。仮に、第3回で決着がつかなかった場合、そこから10日以内に議会が解散され、30日以内に総選挙が行われることになる。既に報じられている通り、第3回で未決着となった場合、1月25日もしくは2月1日に選挙が行われることになる。

~Grexit 騒動再び~

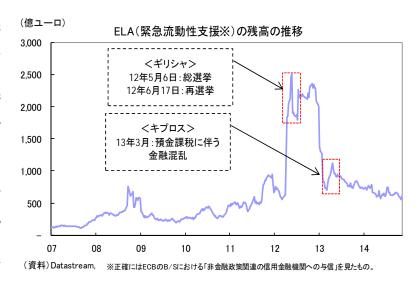
問題は仮に選挙になった場合、足許の世論調査を踏まえれば、与党第一党が急進左派連合 (SYRIZA)となる公算が大きいという事実である。21 日、サマラス・ギリシャ首相は連立与党候補への支持を取りつけるために、トロイカ (IMF・ECB・欧州委員会)との金融支援交渉が終われば、2016 年 6 月の議会任期満了を待たずに「2015 年末に総選挙を行うことも考えられる」との譲歩案を野党側に示しているが、SYRIZA を筆頭とする野党勢からすれば、自身の支持率が高いうちに解散・総選挙に追い込みたいわけで、この譲歩案は殆ど奏功していない(故に 168 票だったのである)。

市場参加者の記憶に新しいように、2012年5月の総選挙並びに同年6月の再選挙ではSYRIZAがトロイカとの財政再建交渉拒否を掲げ、最終的にはユーロ圏からのギリシャ脱退(Grexit)までまことしやかに囁かれた。その際、ユーロ相場も対ドルで1.20付近、対円でも95円台まで急落している。2012年選挙ではそれでもNDが第一党となり、何とか極端な左傾化を回避できたものの、今回の選挙で支持率1位のSYRIZAが第一党となった上でその他の政党と連立を組むことに成功すれば左派色の強い政権が過半数を獲得する展開も有り得る。

この場合、市場が最も警戒すべきはトロイカとの交渉決裂に始まる混乱である。SYRIZA が高い支持率を得ている背景にはトロイカの緊縮財政方針を痛烈に非難しているという事実があり、当然にしてトロイカがつきつける再建プログラムの履行拒否が主張されるだろう。後述するように、トロイカとの交渉決裂は順当に考えればギリシャ脱退(Grexit)懸念に繋がるはずである。しかし、そもそも国内の年金や公務員給与の支払いがトロイカ支援に依存する以上、トロイカに逆らい続けて得るものはなく、それらが未払いになる事態になれば今度は SYRIZA 政権自体が支持率を落とすことになり、最終的には、市場を散々混乱させた挙句、ある程度の緊縮を飲まざるを得ないと推測される。

~ELA 利用に始まる最悪シナリオ~

とはいえ、市場からすれば「散々混乱させた挙句」の部分が気になるところではある。2012年当時の状況を参考にするならば、「トロイカとの交渉拒否→融資(トランシェ)振り込まれず→ECBの適格担保から除外」とのプロセスを経て、ギリシャがECBによる緊急流動性支援(ELA)の利用を余儀なくされる事態は想定される。規定によりELAの内情は不明だが、カシメリニ(Kathimerini、ギリシャで発行



2014年12月24日 2

される日刊新聞)のインタビューに対し、ストゥルナラス・ギリシャ中央銀行総裁は「そのような場合 (≒トロイカとの交渉に決裂した上で 2015 年 1 月 1 日までに予防的信用枠も得られない場合)でも 流動性はストップしないが、それは ELA からの供給になるだろう」と述べている。この上で、「現在、 ギリシャの国内銀行はユーロシステム(ECB)から 0.05%のコストで資金調達を行っているが、そうし た望まざるケースにおいては、約 1.55%のコストがかかる ELA に依存する必要があるだろう」とも述 べており、ELA 利用に追い込まれた際の高い資金調達コストに懸念を示している。この「政策金利 +1.50%」という調達コストがギリシャの金融システムにとって絶望的に高いことは想像に難くない。

2013 年 3 月のキプロス国内銀行に係る預金課税騒動然りではあるが、ユーロ圏において金融システム不安が極限まで高まる際には ELA 利用に追い込まれるというステップがある。そして、この次の展開として「ECB が ELA の利用を許可しない」というのが最悪シナリオになる。仮に、ECB からの通常オペに加え ELA の利用も封じられる状況が続けば(もちろん市場からの調達もできない)、経常赤字が続くギリシャの状況を踏まえれば、いつかは同国内から対外支払いのための通貨ユーロが枯渇することになる。そこまで至れば自国通貨を発行せざるを得ず、ユーロ圏からの脱退が現実味を帯びてくる。これは 2012 年 5~6 月のギリシャ選挙時にも話題となったし、2013 年 3 月のキプロス騒動の時にも EU との交渉拒否が ELA の打ち切り懸念に繋がるということがあった。 SYRIZA を筆頭とする左派系政党が標榜しているのはあくまで過度な緊縮の拒否であって、ユーロ圏からの離脱はそこから類推される最悪の結末でしかない(自発的にユーロ圏から脱退を希望している訳ではないと思われる)。

だとすれば、SYRIZAが政権を奪取したとしても、せいぜい1~2か月程度の混乱を経て、収束が見込まれるだろう。しかしそれは、裏を返せば2015年の金融市場を最初に揺るがすテーマがギリシャになりそうだということにも等しい。国際金融市場安定のためにも、まずは12月29日の第3回投票で新大統領が選出されることを期待するしかない。

以上

国際為替部 チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

2014年12月24日

¹ ekathimerini.com, "Debt relief 'still needed' says Bank of Greece chief". November 29, 2014.

² 現状、2014年2月末が締め切りだった欧州金融安定ファシリティ(EFSF)による18億ユーロの振込みは、大統領選挙実施を条件に2015年2月末へ延期されている。こうした状況に鑑み、とりあえずは2月いっぱいが1つの目安となりそうである。

2014年12月22日 EGB理事会、輪番制の解説 2014年12月19日	
2014年12月18日 週末版	
2014年12月18日 FOMG(12月17~18日開催分)を終えて 2014年12月16日 最近の原油安について〜湿同しがちな因果関係〜 2014年12月16日 最近の原油安について〜湿同しがちな因果関係〜 2014年12月17日 関本版 2014年11月27日 基本版 2014年11月27日 本邦の中労馬配と過ラ2つの要素〜実質金利と需給〜 2014年11月27日 本邦の中労馬配と通う2つの要素〜実質金利と需給〜 2014年11月17日 本邦の中労馬配と通う2つの要素へ実質金利と需給〜 2014年11月17日 本邦の日の中労・教育・日本の財・保証の表し 2014年11月17日 本邦の日の中学・教育・日本の事業・日本の	
2014年12月15日	
2014年12月16日 最近の原油安について〜湿面しがちた図果側係〜 2014年12月17日 衆院選挙後も注目はポリシーミックスの持続性 2014年12月11日 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 2014年12月10日 安、数えて考える円高リスク 2014年12月91日 今、数えて考える円高リスク 2014年12月91日 母、数えて考える円高リスク 2014年12月91日 母、成立に考える円高リスク 2014年12月91日 母、近のユーロバル相場について 2014年12月3日 日本売りに対する所感・懸念は尚早だが・・・〜 2014年12月3日 日本売りに対する所感・懸念は尚早だが・・・〜 2014年12月3日 日本売りに対する所感・懸念は尚早だが・・・〜 2014年12月1日 最近のユーロバル相場について 2014年12月1日 日本売りに対する所感・懸念は尚早だが・・・〜 2014年12月1日 日本売りに対する所感・懸念は尚早だが・・・〜 2014年12月1日 日本売りに対する所感・懸念は尚早だが・・・〜 2014年11月28日 四末版 2014年11月28日 日ま末版 2014年11月28日 日ま末版 2014年11月28日 日まま版 2014年11月28日 日まま版 2014年11月29日 最大のアベスクスを待ち受けるもの 2014年11月20日 家ドル資産の軟調が自立つ 2014年11月20日 康ドル資産の軟調が自立つ 2014年11月1日 過去成の日を局面と違う2つの要素〜実質金利と需給〜 2014年11月1日 過去の日を局面と違う2つの要素〜実質金利と需給〜 2014年11月1日 過末版のは無対する対象が関係側の悪化〜 2014年11月1日 温末版(ECB理事会を授えて〜エスに対すったのか〜) 本知月日際収支が財材とどこの場であったのか〜) 2014年11月1日 日・海外月日際収支が財材とどこの場であったのか〜) 2014年11月1日 日・海外月日際収支が財材とどこの場であったのか〜) 2014年11月1日 日・日本の日本のより計りを表げて「10月28~29日開催分) 2014年11月3日 日・日本の日本のよりに対する市はのよりことのよりに対する市は同り、日本の日本のよりに対する市はのりままたが「量」への挑戦〜) 2014年10月31日 日本版(ECB理事会を授えて〜エスに対する市はのよりに対する市は同り、日本の日本のよりに対する市はのりままたが「一型の上本が上がらない構造的背景〜) 2014年10月28日 カバートボンド購入器をどう読むか? 2014年10月28日 カバートボンド購入器をどう読むか? 2014年10月28日 日かイン・デンドで「10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバートボンド購入器をどう読むか? 2014年10月28日 カバートボンド購入器をどう読むか? 2014年10月28日 日かイン・デンドで「10月28~29日開催分) 2014年10月28日 日かイン・デンドで「10月28~29日開催分) 2014年10月28日 日かイン・デンドで「10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバートボンド購入器をどう読むか? 2014年10月28日 日かイン・デンドで「10月28~29日開催分) 2014年10月28日 日かイン・デンドで「10月28~29日開催分) 2014年10月28日 日かイン・デンドで「10月28~29日開催分) 2014年10月28日 日本に対するがよりままた。 2014年10月28日 日本に対するがよりままた。 2014年10月28日 日本に対するがよりままた。 2014年10月28日 日本に対するがよりままた。 2014年10月28日 日本に対するがよりままた。 2014年10月28日 日本に対するがよりままた。 2014年10月28日 日本に対するがよりまた。 2014年10月28日 日本に対するが表えて、2014年10月28日 日本に対するがよりまた。 2014年10月28日 日本に対するがよりまた。 2014年10月28日 カバー・ロボイン・ロボイン・ロボイン・ロボイン・ロボイン・ロボイン・ロボイン・ロボイン	
2014年12月15日 衆院選挙後法目はボリシーミックスの持続性 2014年12月16日 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 2014年12月10日 実質資金と募条件そして円安の関係 2014年12月10日 内安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 2014年12月10日 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 2014年12月1日 最近のユーロバル相場について 2014年12月3日 日本売りに対する所感へ懸念は尚早だが・・~ 2014年12月3日 「日本売りに対する所感へ懸念は尚早だが・・~ 2014年12月1日 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 2014年12月1日 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 2014年11月28日 最近のユーロバル地場について 2014年11月28日 最近のドラ子業高などを受けて~金購入なども含め~ 2014年11月28日 最近のドラ子業高などを受けて~金購入なども含め~ 2014年11月28日 日本施り上のサーターの影響などについて 2014年11月26日 解散総選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 2014年11月26日 ポルプ・9月期間の悪化~ 2014年11月18日 過去の円安局面と遠う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月18日 過去の円安局面と遠う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月18日 地末版2回年を迎えたアベノミクスの何が変わったのか~) 2014年11月18日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月18日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月18日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月1日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月1日 地末版に60理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 2014年11月1日 日本版に60理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 2014年1月月1日 日本版任の日報告 2014年1月月1日 日金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月28日 か・トボンド購入額をどう読むか? 2014年10月28日 か・トボンド購入額をどう読むか? 2014年10月28日 財際よの円数で取りるラック(他み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月28日 現中風の内のスラック(他み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月28日 ア・トボンド購入額をどう読むか? 2014年10月28日 フ・トボンド購入るをどう読むかのア・)	
2014年12月11日 健在だったドル建て日経平均株価「150ドル」の壁 2014年12月1日 実質責金と交易条件そして円安の関係 2014年12月5日 実質責金と交易条件そして円安の是非を超えて~ 2014年12月5日 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 2014年12月5日 景本版(C6 B 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 2014年12月3日 日本売りに対する所能へ懸念は尚早だが・・・~ 2014年12月2日 日本売りに対する所能へ懸念は尚早だが・・・~ 2014年12月2日 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 2014年12月1日 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 2014年11月27日 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ 2014年11月27日 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ 2014年11月27日 漫末版 2014年11月27日 漫末版 2014年11月27日 漫末版 2014年11月27日 漫末版 2014年11月1日 漫末版 2014年11月1日 漫末版 2014年11月1日 漫末版 2014年11月1日 漫末版 2014年11月1日 本邦7~9月期のPや・旅門得面の悪化~ 2014年11月1日 本邦7~9月期のP・旅門得面の悪化~ 2014年11月1日 本邦7・9月期のP・旅門得面の悪化~ 2014年11月1日 (特別版)中期為資相増見通し』の誘時改訂 2014年11月1日 (特別版)中期為資相増見通し』の誘時改訂 2014年11月1日 (特別版)中期為資相増見通し』の誘時改訂 2014年11月1日 日(特別版)中期為資相増見通し』の誘時改訂 2014年11月1日 日(特別版)中期為資相増見通し』の誘時改訂 2014年11月1日 日(特別版)中期為資相増見通し』の誘時改訂 2014年11月1日 日(日)日 日(日)日(日)日(日)日(日)日(日)日(日)日(日)日(日)	
2014年12月10日 実質運金と交易条件そして円安の関係 2014年12月9日 今、敢えて考える円高リスク 2014年12月8日 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 2014年12月5日 週末版ICGB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 2014年12月3日 日本売り口に対する所感~懸念は尚早だが・・・~ 2014年12月1日 IB 連番金(12 月4 日)プレビュー 2014年12月1日 IB 連番金(12 月4 日)プレビュー 2014年12月1日 図連本版 2014年12月1日 図連本版 2014年11月28日 図車を設定を受けて~金購入なども含め~ 2014年11月28日 図車を設定を受けて~金購入なども含め~ 2014年11月28日 図車を設定を受けるもの 2014年11月18日 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月18日 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月18日 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月11日 本邦ク9月間の図中を検が所得面の悪化~ 2014年11月11日 本邦の月国際収支統計などについて 2014年11月1日 型車は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月1日 型車は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月1日 図車 2014年11月1日 型車は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月1日 図車 2014年10月21日 図車 2014年10月21日 図ボ版(12 中の) 2014年10月21日 図ボ版(12 中の) 図域をどう誌むか? 2014年10月21日 図末版(12 中の) 2014年10月21日 図末版(12 中の) 2014年10月21日 図書本版(12 中の) 2014年10月21日 図書本版(12 中の) 2014年10月21日 図書本版(12 中の) 2014年10月21日 図書本版(12 中の) 2014年10月11日 図東 2014年10月21日 図末版(12 中の) 2014年10月21日 図書本の) 2014年10月21日 図末版(12 中の) 2014年10月21日 図末版(12 中の) 2014年10月21日 図車の) 2014年10月21日 図末版(12 中の) 2014年10月21	
2014年12月9日 今、敗えて考える円高リスク 2014年12月5日 囲来版(EOB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 週末版(EOB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 2014年12月3日 日本売りに対する所感へ懸念はは尚早だが・・・ 2014年12月2日 ECB 理事会(12月4日)プレビュー 2014年12月1日 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 2014年11月28日 週末版 2014年11月28日 過去版 2014年11月28日 日本売りに分析を含め 2014年11月28日 日本売りに分析を含め 2014年11月28日 日本売りに分析を含め 2014年11月21日 週末版 2014年11月21日 週末版 2014年11月21日 週末版 2014年11月21日 2014年11月21日 2014年11月21日 2014年11月21日 2014年11月1日	
2014年12月8日 円安倒産報道に関し思うこと~円安の是非を超えて~ 2014年12月3日 選末版[CB 理事金を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 2014年12月3日 長近のユーロドル相場について 2014年12月3日 日本売り川に対する所感~懸念は尚早だが・・~ 2014年12月3日 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 2014年11月28日 選末版 2014年11月28日 漫近のドラギ発言などを受けて~金騰人なども含め~ 2014年11月26日 保財・必要を使り需給への影響などについて 2014年11月26日 日本財・ル・ユーロに与える影響について 2014年11月26日 日本財・ル・ユーロに与える影響について 2014年11月26日 日本財・ル・ユーロに与える影響について 2014年11月27日 製本版 2014年11月28日 選本版 2014年11月28日 選本版 2014年11月28日 2014年11月28日 2014年11月18日 選本版 2014年11月18日 選本の中央局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月18日 選本の中央局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月11日 本邦の中月期の日本財・が長の中の場であるといて 2014年11月11日 本邦の日期の日本財・大ビ・フいて 2014年11月11日 本邦の日期の日本財・大ビ・フいて 2014年11月1日 「特別版『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月1日 国本版[CGB理事会を終えて~正式に始まった[一量」への挑戦~) 2014年11月5日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年11月3日 日の日本財・大ビ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・フ・	
2014年12月5日 週末版(ECB 理事会を終えて~expectation(期待)以上、target(目標)未満のintention(意思)~) 2014年12月3日 日本売りに対する所感。懸念は尚早だが・・・~ 2014年12月2日 ECB 理事会(12月4日)プレビュー 2014年12月2日 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 2014年11月28日 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ 2014年11月28日 最近のドラギ発言などを受けて~金購入なども含め~ 2014年11月26日 GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 2014年11月21日 週末版 2014年11月21日 週末版 2014年11月21日 週末版 2014年11月21日 週末版 2014年11月1日 週末版 2014年11月1日 週末版 2014年11月1日 週末版 2014年11月1日 週末版 2014年11月1日 週末版 2014年11月1日 週末版(2014年11月1日 本邦7~9月期GDP~続く所得面の悪化~ 2014年11月1日 本邦9月国際収支統計などこついて 2014年11月1日 本邦9月国際収支統計などこついて 2014年11月1日 本邦9月国際収支統計などこついて 2014年11月1日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 とGB理事会ブレビュー~現状維持を予想~ 2014年11月5日 ECB理事会ブレビュー~現状維持を予想~ 2014年10月31日 週末版 2014年10月31日 国末版 2014年10月31日 国末版 2014年10月2日 図水ストレステストを受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月28日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月21日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月21日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月21日 週末版(メーロ圏PMIや域内のスラックの開入について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月21日 週末版(メーシ管でのよりでのよりについて~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月21日 週末版(メーシ管でのよりでのよりについて~インフレー動内(2014年9月分) 2014年10月21日 週末版(メーシ管でのよりについて~ドル高容認か?~) 2014年10月21日 週末版(メーシ管でのよりを含まれているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているように対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているように対しませばられているよりに対しませばられているよりにはられているよりに対しませばられているよりに対しませばられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているようにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているようにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられているよりにはられている	
2014年12月4日 最近のユーロバル相場について 2014年12月3日 「日本売り」に対する所感 や懸念は尚早だが・・・〜 2014年12月1日 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 2014年11月28日 周末版 2014年11月27日 最近のドラ千発言などを受けて〜金購入なども含め〜 2014年11月26日 GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 2014年11月26日 GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 2014年11月26日 現末版 2014年11月27日 週末版 2014年11月18日 過末版 2014年11月18日 過末版 2014年11月18日 過末版 2014年11月18日 過末版 2014年11月19日 素が資産の軟調が目立つ 2014年11月18日 海丸の円安局面と違う2つの要素〜実質金利と需給〜 2014年11月17日 本邦の「毎別限」を対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、	
2014年12月3日	
2014年11月1日 原油価格下落が円・ドル・ユーロに与える影響について 2014年11月28日 最近のドラ千発言などを受けて〜金購入なども含め〜 2014年11月26日 最近のドラ千発言などを受けて〜金購入なども含め〜 2014年11月26日 保散総選挙後のアベスミクスを待ち受けるもの 2014年11月26日 週末版 2014年11月21日 週末版 2014年11月1日 週末版 2014年11月1日 週末版 2014年11月1日 週末版 2014年11月1日 週末版 2014年11月1日 週末版(2周年を迎えたアベスミクス〜何が変わったのか〜) 2014年11月1日 連末版(2周年を迎えたアベスミクス〜何が変わったのか〜) 2014年11月1日 本邦39月国際収支統計などについて 2014年11月1日 本邦39月国際収支統計などについて 2014年11月1日 週末版(2周年を迎えたアベスミクス〜何が変わったのか〜) 2014年11月1日 週末版(2周年を迎えたアベスミクス〜何が変わったのか〜) 2014年11月1日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月1日 週末版(2周年を迎えたアベスミクス〜何が変わったのか〜) 2014年11月1日 週末版(2周年を迎えたアベスミクス〜何が変わったのか〜) 2014年11月1日 週末版(2周年を迎えたアベスミクス〜何が変わったのか〜) 2014年11月1日 週末版(2の14年10月1日 週末版(2の14年10月1日 1月1日 1月1	
2014年11月28日	
2014年11月27日 最近のドラギ発言などを受けて〜金購入なども含め〜 2014年11月26日 GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 2014年11月27日 週末版 2014年11月20日 豪ドル資産の軟調が目立つ 2014年11月18日 過去の円安局面と違う2つの要素〜実質金利と需給〜 2014年11月18日 過去の円安局面と違う2つの要素〜実質金利と需給〜 2014年11月17日 本邦ペー9月期GDP〜続く所得面の悪化〜 2014年11月18日 週末版(2周年を迎えたアペノミクス〜何が変わったのか〜) 2014年11月11日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月10日 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月10日 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月6日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 ECB理事会を終えて〜正式に始まった「量」への挑戦〜) 2014年11月5日 ECB理事会が表で〜正式に始まった「量」への挑戦〜) 2014年10月31日 週末版(CB月31日開催分) 2014年10月31日 図本設成策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 図末版 2014年10月31日 図水トレステストを受けて(10月28〜29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月21日 図州ストレステストを受けて〜本当の勝負はこれから〜 2014年10月21日 図井点の消費増税に対する市場の反応イメージについて〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 オ邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月21日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について〜ドル高容認か?〜)	
2014年11月26日 GPIFの売買余地や基礎的需給への影響などについて 2014年11月27日 解散終選挙後のアベノミクスを待ち受けるもの 2014年11月20日 漫下ル資産の軟調が目立つ 2014年11月18日 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月17日 本邦7~9月期GDP~続く所得面の悪化~ 2014年11月17日 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 2014年11月11日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月10日 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月10日 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月10日 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月6日 当面は温存さんうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 ECB理事会で約でまる方で実現不可能なポリシーミックス 2014年11月4日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月31日 図末版 2014年10月31日 図末版 2014年10月31日 欧州ストレステストを受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月28日 フルベードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月21日 フルベードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月21日 フトボールの表示の場合はこれから~ 2014年10月21日 フトボールの表示の場合はこれから~ 2014年10月21日 フトボールの表示の表示が表示の表示が表示してインフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月21日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 本邦個人投資のステックが入資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月21日 本邦個人投資のステックが入資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月21日 国末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年11月21日 週末版 2014年11月20日 豪ドル資産の軟調が目立つ 2014年11月18日 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月17日 本邦7~9月期GDP~続く所得面の悪化~ 2014年11月18日 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 本2014年11月11日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月11日 海末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 2014年11月10日 [特別版]『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月7日 週末版(ECB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 2014年11月6日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 ECB理事会プレビュー~現状維持を予想~ 2014年11月5日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月21日 図末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月21日 図末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月21日 別時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 加ィードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 加ィードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 加ィードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 加ィードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 加ィードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 加ィードボンド購入プログラム(CBP3)のでに対しませた。 2014年10月21日 加ィードボンド購入プログラム(CBP3)のでについて~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月21日 加ィードボンド購入プログラム(CBP3)などについて	
2014年11月20日 漫ドル資産の軟調が目立つ 2014年11月18日 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月17日 本邦ハー9月期GDP~続く所得面の悪化~ 2014年11月11日 本邦の一9月期GDP~続く所得面の悪化~ 2014年11月11日 本邦の月国際収支統計などについて 2014年11月10日 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月7日 週末版(ECB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 2014年11月6日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 ECB理事会プレビュー~現状維持を予想~ 2014年11月5日 自銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月28日 カバードボント購入額をどう読むか? 2014年10月21日 コま版(ニーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボント購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年11月20日 豪ドル資産の軟調が目立つ 2014年11月18日 過去の円安局面と違う2つの要素~実質金利と需給~ 2014年11月17日 本邦7~9月期GDP~続く所得面の悪化~ 2014年11月11日 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 2014年11月11日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月10日 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月16日 週末版(ECB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 2014年11月6日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 ECB理事会プレビュー~現状維持を予想~ 2014年11月4日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月28日 カバードボント購入額をどう読むか? 2014年10月24日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月24日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボント購入ブログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年11月17日 本邦7~9月期GDP~続く所得面の悪化~ 2014年11月14日 週末版(2周年を迎えたアベノシクス~何が変わったのか~) 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月10日 [特別版]『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月7日 週末版(ECB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 2014年11月6日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 ECB理事会ブレビュー~現状維持を予想~ 2014年11月4日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月21日 図州ストレステストを受けて~本当の勝負はこれから~ 2014年10月21日 図市域の内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 カバードボント購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 カボーボン・購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 カボーボン・購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 カボーボン・購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年11月14日 週末版(2周年を迎えたアベノミクス~何が変わったのか~) 2014年11月10日	
2014年11月11日 本邦9月国際収支統計などについて 2014年11月10日 【特別版]『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月7日 週末版(ECB理事会を終えて〜正式に始まった「量」への挑戦〜) 2014年11月6日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 ECB理事会プレビュー〜現状維持を予想〜 2014年11月4日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28〜29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月27日 欧州ストレステストを受けて〜本当の勝負はこれから〜 2014年10月24日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) 2014年10月24日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入ブログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について〜ドル高容認か?〜)	
2014年11月10日 【特別版】『中期為替相場見通し』の臨時改訂 2014年11月7日 週末版(ECB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 2014年11月6日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 ECB理事会プレビュー~現状維持を予想~ 2014年11月4日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月27日 欧州ストレステストを受けて~本当の勝負はこれから~ 2014年10月24日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月23日 ECB社債購入を巡る3つの問題点 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年11月7日 週末版(ECB理事会を終えて~正式に始まった「量」への挑戦~) 2014年11月6日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月4日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月27日 欧州ストレステストを受けて~本当の勝負はこれから~ 2014年10月28日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月21日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年11月6日 当面は温存されそうな実現不可能なポリシーミックス 2014年11月5日 ECB理事会プレビュー〜現状維持を予想〜 2014年10月31日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月27日 週末版(ユーロ圏PMで域内のスラック(弛み)について〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) 2014年10月23日 ECB社債購入を巡る3つの問題点 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について〜ドル高容認か?〜)	
2014年11月5日 ECB理事会プレビュー〜現状維持を予想〜 2014年10月31日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月27日 欧州ストレステストを受けて〜本当の勝負はこれから〜 2014年10月24日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) 2014年10月24日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入ブログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について〜ドル高容認か?〜)	
2014年11月4日 日銀金融政策決定会合(10月31日開催分) 2014年10月31日 週末版 2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月27日 欧州ストレステストを受けて~本当の勝負はこれから~ 2014年10月24日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月23日 ECB社債購入を巡る3つの問題点 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月20日 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年10月30日 FOMC声明文を受けて(10月28~29日開催分) 2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう読むか? 2014年10月27日 欧州ストレステストを受けて〜本当の勝負はこれから〜 2014年10月24日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) 2014年10月23日 ECB社債購入を巡る3つの問題点 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月21日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について〜ドル高容認か?〜)	
2014年10月28日 カバードボンド購入額をどう誌むか? 2014年10月27日 欧州ストレステストを受けて~本当の勝負はこれから~ 2014年10月24日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月23日 ECB社債購入を巡る3つの問題点 2014年10月21日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム (CBPP3)などについて 2014年10月21日 カボードボンド購入プログラム (CBPP3)などについて 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年10月27日 欧州ストレステストを受けて〜本当の勝負はこれから〜 2014年10月24日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について〜インフレ率が上がらない構造的背景〜) 2014年10月23日 ECB社債購入を巡る3つの問題点 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月20日 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について〜ドル高容認か?〜)	
2014年10月24日 週末版(ユーロ圏PMIや域内のスラック(弛み)について~インフレ率が上がらない構造的背景~) 2014年10月23日 ECB社債購入を巡る3つの問題点 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月20日 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年10月23日 ECB社債購入を巡る3つの問題点 2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月20日 本邦個人投資家の対外資金フロ一動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年10月22日 現時点の消費増税に対する市場の反応イメージについて 2014年10月21日 カバードボンド購入プログラム(CBPP3)などについて 2014年10月20日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年10月20日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2014年9月分) 2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年10月17日 週末版(米為替政策報告書について~ドル高容認か?~)	
2014年10月16日 昨日の相場混乱について~ドル/円は適正な水準まで調整へ~ 2014年10月15日 原油価格下落が日米欧金融政策に与える影響	
2014年10月13日	
2014年10月10日 週末版(ドル/円相場の新しい節目~均衡水準は20%円安に?~)	
2014年10月9日 FOMC議事要旨(9月16~17日開催分)を受けて	-
2014年10月8日 日銀金融政策決定会合を終えて〜迫る期限の弾力化〜	
2014年10月7日 経済財政諮問会議(10/1)議事要旨を受けて	
2014年10月6日 米9月雇用統計を終えて〜経験則に照らせば利上げ?〜 2014年10月3日 週末版(ECB理事会を終えて〜需要不足と向き合うECB〜)	
2014年10月3日	
2014年10月1日 EGB理事会プレビュー〜「量」を評価軸とする難しさ〜	
2014年9月29日 ドル高を阻むもの	
2014年9月26日 週末版	
2014年9月25日 安倍首相発言や最近の株高などについて	
2014年9月24日 トラキ総裁の欧州議会証言について〜「童」の丹強調〜	
2014年9月22日 ケアンズG20 財務相・中央銀行総裁会議を終えて 2014年9月19日 週末版(第1回ターゲット型長期流動性供給(TLTRO)について~厳しくなる「量」の追求路線~)	
2014年9月18日 FOMC(9月16~17日)を終えて	
2014年9月17日 ドル/円相場の水準感に係るヒント	
2014年9月16日 スコットランド独立についての論点整理	
2014年9月12日 週末版(必要なのは「円安前提の成長戦略」 ~ 心配しなくても円安は進む ~)	
2014年9月10日 官製相場となったユーロ相場への考察	
2014年9月9日 円安を巡る財界要人発言を受けて~伸び悩む実質GDI~ 2014年9月8日 本邦7月国際収支統計などについて	
2014年9月8日 本州7月国际収入机計などにプリング 2014年9月5日 週末版(ECB理事会を終えて~官製相場の様相を呈してきたユーロ相場~)	
2014年9月4日 9月レバトリの妥当性や今後の直投収益などについて	
2014年9月3日 105円台を受けて~日米2年金利差からの推計値など~	
2014年9月2日 再び迫る「市場のユーロ売りvs.SNBのユーロ買い」	
2014年9月1日 ECB理事会プレビュー~最大の注目点は声明文?~ 2014年8月29日 週末版	
2014年8月29日 週末版 2014年8月27日 止まらない欧州金利の低下~財政が嫌なら介入のみ~	
2014年8月26日 ドラギ総裁の「3 本の矢」~驚きずくめのジャクソンホール講演~	
2014年8月25日 イエレンFRB議長講演~「見たいように見る」相場~	
2014年8月22日 週末版(ユーロ圏からの資金流出見られず~俗説に反するユーロ圏6月国際収支統計~)	
2014年8月21日 FOMC議事要旨~「終わりの始まり」をどう考えるか~	
2014年8月20日 本邦7月貿易収支などについて 2014年8月10日	
2014年8月19日 最近のサービス収支動向〜旅行収支は経常収支を支えるか〜 2014年8月18日 ユーロショートカバーに備える地合い〜3 つの契機〜	
2014年8月16日	
2014年8月13日 本邦4~6月期GDP1次連報値などについて	
2014年8月12日 「国際金融のジレンマ」がもたらす金融政策の通貨政策化	
2014年8月11日 改めて認識する「放って置けば円安」シナリオ	
2014年8月8日 ECB 理事会を終えて〜畳み掛けるような口先介入は焦りの表れ?〜 2014年8月7日 ハードデータに及び始めたロシア・ウクライナ問題	
2014年8月6日 ECB理事会プレビュー~「最良の地合い」で現状維持~	
2014年8月5日 BIS国際与信統計における欧州とロシアの繋がりについて	
2014年8月4日 ユーロ下落時のユーロ円化説の考え方~認識は変わらず~	
2014年8月1日 週末版(ユーロ圏7月消費者物価指数(HICP)などを受けて~ECBとしては「早く結果が欲しい」状況~) 2014年7月30日 ドル建て日経平均株価から滲み出る過熱感	
2014年7月28日 ターゲット型LTRO(TLTRO)の展望とユーロ相場について	
2014年7月25日 週末版	